

子どもたちの あゆみ

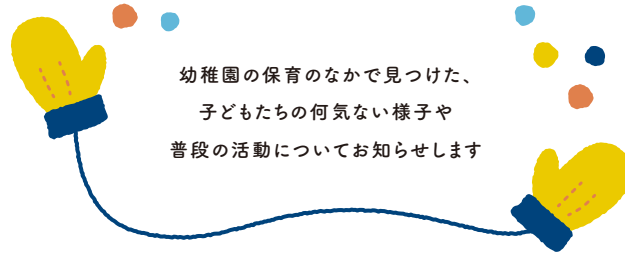
秋の園庭遊び

秋といえば、芸術やファッション、スポーツ、食欲の秋!園庭ではこれらの「秋」が展開し、おもしろい遊びがはじまっています。

まずは「芸術の秋」。園庭にある銀杏や楠、モミジバフウ、ナンキンハゼなどの葉を夢中になって拾い集めます。「あ、これ、オレンジ色と黄色が混ざってる!」「この形がカッコイイ!キレイ!」とブーケや髪かざりにして楽しめます。季節の移り変わりや自然の美しさを感じると豊かな感性が育っていますね。秋が深まるにつれ、さらに紅(黄)葉する葉っぱに心奪われることでしょう。

テニスコートでは年長児によるドッジボール大会が開催されています。チーム分けからゲーム進行、作戦タイムまで子どもたちが主体的に実践し、激闘を繰り広げています。ボールの投捕も上達しています。大型遊具では掴む、引っ張る、登る、渡る、這う、ぶら下がる、降りるなど、全身を使って多様な動きをし、それがおもしろくて繰り返し遊びます。これは「スポーツの秋」ですね。

最後に「食欲の秋」。青空農園でみんなで収穫したさつまいもや年長児が育てたコシヒカリをたっぷり味わうことさつまいもは毎年好評の素揚げきび



幼稚園の保育のなかで見つけた、
子どもたちの何気ない様子や
普段の活動についてお知らせします

砂糖あえにしてホクホク感を楽しみ、コシヒカリは新米おむすびにいただきました。

本園の園庭には、子どもたちが何かを発見し興味を持てる仕掛けがあちこちに散りばめられています。先に紹介した園庭遊びはほんの一部です。一人ひとりの子どもが、「何だろう?」「面白いな」「もっとやりたい!」と知的好奇心をくすぐられ、主体的に物事に関わる力を育む、「遊びこめる園庭」です。明日は何を発見し、どんな遊びが展開されるでしょう?ワクワクしますね。



年少児、お箸使いを練習中

お箸使いは日本の食文化で欠かすことのできない基本の所作です。幼少期から毎日の食事の中でお箸を正しく持ち、使いこなせるようになりたいものですね。

もちろん、本園の給食では年少時からお箸を使っていただきます。コーンサラダや五目豆などを一粒一粒お箸で摘んで口もとまで運ぶのには少々手間取っていますが、毎日の給食のなかで正しいお箸使いを意識しています。小さなものを箸先で摘んだり、麺類をすくったり、柔らかいものを切り分けたり、ご飯粒をまとめたりとお箸の持つ機能をしっかりと使って食事をしています。

先日、年少児対象にお箸検定を実施しました。お箸を正しく扱うための練習方法を1学期に教わり、一生懸命にお稽古を続けていました。夏休みもご家庭の協力のもとお稽古を継続。するとどうでしょう!2学期に入るとお箸使いが格段に上達していました。「先生、ほら見て!上手に持っていますでしょう?」「お箸でたくさん掴めるよ。」と自信満々で練習の成果を披露してくれました。すごいですね、年少さん!

今後も練習を継続し、ますます正しくお箸を扱えるようにしていきましょう。これが完璧に身につけば、大きな財産です。そして美しい所作で楽しくお食事ができれば、豊かな人生が広がります。



まなび、おもいをつたえる

anone

あーね



リアルな体験と バーチャルの先へ

園長 田中 幸枝

本園では、幼児期は将来のための準備期間とらえて毎日を積み重ねています。特に、Vol.43で紹介した「幼児期の終わりにまでに育ててほしい姿(10の姿)」を子どもたちにいかに身につけてもらうかを日々研究中です。そして、ICT機器を使った活動も取り入れて工夫しています。ICT機器を幼児の活動の中心に置くべきではないと考えていますが、将来抵抗なく使いこなさなければならないツールであることは間違いありません。

子どもたちが何かを習得するためには、受動的ではなく能動的に、主体性をもって取り組める活動が最も効果的だと実感しています。そのため、さまざまな活動を子どもたちに提供する際は、題材が子どもの身近な事柄であることを大切なコンセプトにしています。身近な事柄であれば、子どもたちはすぐに興味を持ってくれるからです。年齢の特徴に合ったプログラムだけでなく、ちょっと難しい事柄を背伸びしてプログラムに入れ込むことも、子どもたちが簡単だと侮らずに、「やってみたい!」とやる気になるスイッチを押すことにつながります。

そんな考えのもと、本園で長年実施してきた「アゲハチョウの観察」を発展させた、おもしろい活動ができあがりました。アゲハチョウの観察では、一人一頭のアゲハチョウを卵や幼虫から責任をもって飼育します。毎日餌やりをし、飼育ケースの掃除をして、日々成長する姿に一喜一憂します。そして、定期的に幼虫の変化を細かく観察し、その様子や感じたことを自分の言葉で書きとめていきます。

自然に子どもたちは「この幼虫はどうなるのだろうか?」と図鑑やiPadで調べるようになり、探求心が開花します。見る力・見比べる力も育まれます。いつしか幼虫が蛹に変化すると、それに驚くとともにそろそろこの子とお別れだということ意識しはじめます。蛹はいつ蝶になるのか、心配で心配でたまりません。週末には飼育ケースを持ち帰り、いつでも蛹を見守る生活。いよいよ蛹が黒く変色し、ムズムズ動きはじめると蝶への変身です。そして、蝶とお別れのときです。涙しながら蝶を放つ子どもたち。心動くこの体験は、子どもたちにとって忘れることのできない、学ぶことの喜びを体感する大切な活動のひとつとなります。



ここから、リアルな体験からバーチャルな体験にスイッチします。今度はグループ活動で「こんな蝶がいたらいいな」をテーマに話し合い、作品作りに取り組みます。どんなことができる蝶なのか、どこに住んでいるのかなど、担任からの助言をもとに特徴を話し合い、グループで相談して完成させていきます。描いた蝶の羽の前で写真を撮れば、まるで自分が蝶になったかのように大変身。専用アプリに取り込めば、空を羽ばたく仮想体験のはじまりです。自分や友達の蝶がスクリーンに現れると大興奮!平面的に映し出されるのではなく、アプリならではの滑稽な動きにも大爆笑です。

こうして「実体験」を重視する本園ならではの活動をもとに、リアルな体験からの学びをバーチャルの世界に生かしたプログラムが完成しました。この活動を通して、子どもたちの好奇心や探求心が向上し、語彙力や表現力が豊かになりました。何よりも活動に取り組む子どもたちは表情が生き生きとし、言葉では言い表せないほど夢中になる姿が見受けられました。

本園では、これからも将来のための学びの基となる力を育む教育を実践し、「生涯学び続ける意欲的な人」を育てたいと思います。



\\ イベントのお知らせ //

園庭開放

予約不要

[開催日時] 2019年11月30日(土)・12月18日(水) 10:30~11:30
2020年1月15日(水)・29日(水) 10:30~11:30

[開催場所] 幼稚園プレイルーム・園庭

[イベント内容] 11月30日(土)・12月18日(水)・1月29日(水)
15~20分間の季節感たっぷりな心ときめくミニ保育実施後、園庭でご自由にお遊びください。

1月15日(水)

絵本の読み聞かせ会を約15分間行います。

その後、園庭でご自由にお遊びください。

※上靴をご用意ください。

※雨天の場合は、プレイルームでの室内あそびになります。

ファーストステップミーティング

要予約

[開催日時] 2020年1月25日(土) 10:00~

[開催場所] 幼稚園年長組保育室(予定)

[イベント内容] 2021年度入園の「どんぐり会員」や2020年度実施予定の未就園児対象イベントなどについてお話しします。幼稚園の教育方針や特徴なども園長の楽しいトークを交えながらお伝えします。個別相談会も実施します。

※上靴をご用意ください。

こちらより
受付中!



親子体操をしよう!

予約不要

[開催日時] 2020年2月8日(土) 10:30~11:30

[開催場所] 幼稚園プレイルーム・園庭

[イベント内容] 本園の大人気体育教室講師の指導のもと、面白くて楽しい親子体操を実施します。

※上靴をご用意ください。

各イベントの詳細は
幼稚園ホームページを
ご覧ください。



スマートフォンはこちら

帝塚山学院幼稚園
公式Instagram更新中!

@tezukayamagakuin
_youtien



帝塚山学院幼稚園

〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3丁目10番51号
[TEL]06-6672-1151(代) [FAX]06-6672-0031

https://www.tezukayama.ac.jp/kinder_garten

[併設校] 帝塚山学院小学校 / 帝塚山学院中学校高等学校
帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 / 帝塚山学院大学 / 帝塚山学院大学大学院